

第1回実務者協議〔H29.5.1〕

協議後の報道機関に対する説明概要（札幌市まちづくり政策局長）

北海道日本ハムファイターズさんの新球場建設構想に係る第1回目の実務者協議ということで、私の方から概要について説明いたします。

まず、協議の第1回目ということで、冒頭にこの13年間、今シーズンも入れて14期にわたってですね、この札幌の地で輝かしい功績を積み重ねてこられた球団の業績、さらには野球以外の地域貢献に関しまして、敬意と感謝を申し上げました。

その活動におきまして、札幌市民と球団との間に、非常に太い絆ができたということ、さらにはこれに関しまして、札幌市民が非常に深い愛着を持つに至ったということについてお話をさせていただきました。

4月13日の提案書の提出のときに、市長が「地域の財産」という言葉を使いましたが、その財産がますます豊かなものとなりますように、市内で活動していただきたいということを冒頭に申し上げました。

協議の中身でございますが、第1回目ということで、今後の協議の進め方についてお話をさせていただきました。

さらに4月13日に提出をいたしました提案書の中身に関するご質問、やりとりについて、いくつか意見交換を行いました。

まず、スケジュールでございますが、今後も月に1回から2回程度の頻度で実務者協議をやっていきたいということでございます。

次回についてはですね、いろいろと球団さんのスケジュール、それから札幌市の方も議会等があり、まだはっきりと決めておりません。

それから、意見交換に関しましては、札幌市が今回2箇所の候補地を提案させていただきましたが、それぞれについて交通アクセスの問題ですとか、土地の利用の条件等についての細かなやりとりをさせていただきました。

協議の概要につきましては以上です。

以上